

# LANDesk® ソリューションと インテル® vPro™ テクノロジー

## »» 強力なリモート問題解決によるコスト削減と生産性向上

IT部門はコンピュータ環境の管理という深刻な課題に直面しています。ネットワーク上の正確なシステム数が把握できず、すべてのシステムに企業ポリシーを適用できない場合もあります。また、アップグレードやイメージの再構築を行ったシステムは、特定するのが難しくなります。システムの電源が落としてある場合もあり、基本的なインベントリ情報も常に入手可能とは限りません。システムがハングアップまたはクラッシュした場合には、リモート操作でアクセス、診断、修復できず、ユーザの席まで何度も足を運ばなければならないこともあります。ユーザが誤って（場合によっては故意に）リモート管理エージェントを削除する可能性もあり、そうなるヘルプデスクからの診断も難しくなります。

### 解決策: LANDesk® 管理ソリューションによる

#### インテル® vPro™ テクノロジー対応システムの管理

LANDesk®管理ソリューションを使用したインテル vProテクノロジー対応システムの管理は、OSが利用できない状況においても、効率的なリモート管理と正確なインベントリ情報収集を可能にします。たとえば、典型的な部門アップグレードの過程で、10台の新規ベアボーンマシンをネットワークに接続するとします。従来はネットワーク管理者が各マシンの設置場所まで足を運び、管理エージェントをインストールしてからでなければ、システムを認識し企業ポリシーを適用することもできませんでした。

しかしLANDesk®管理ソリューションは、たとえ電源が落としてあったりベアボーン状態であっても、インテル vPro テクノロジー対応システムを検出します。管理エージェントがインストールされていなくても、ネットワーク コマンドを送信することにより、マシンやプロセッサのタイプ、メモリ搭載量からBIOS設定まで詳細なハードウェア情報にリモート アクセスすることができます。その上で管理者はリモート操作により、新規システムを管理ドメインに追加し、LANDesk® エージェントを展開して、マシンを企業ポリシーに完全に準拠させた後、ネットワーク アクセスを許可することができます。

### 主な特長

- 詳細なハードウェア情報とイベントログへのリモート アクセスを通じ、マシンの設置場所に向かう回数を減らし、問題解決能力を改善
- ネットワーク デバイスとのアウトオブバンド通信を通じて、電源やOSの状態に関係なく、システム インベントリのリモート追跡を改善
- マシンIDを一貫して保管することで資産情報を正確に追跡し、イメージの再構築やハード ドライブのアップグレードに関係なく、ソフトウェア ライセンス コストを削減
- 管理エージェントのインストール前やマシンの電源を落とした状態でもハードウェア資産情報を取得できることにより展開コストを削減



## ウイルスやワームをスキャンして感染マシンを隔離または機能制限

インテル vPro テクノロジーのシステム ディフェンス機能を利用することにより、LANDesk®管理コンソールでインテル vPro デバイスを設定し、ホストOSとの間で送受信されるネットワーク パケットを監視することができます。コンソールからインテル vPro デバイスにポリシーを設定しておき、このポリシーが適用されると、パケットを検査して送受信の禁止や転送レート制限などの対策を実行し、LANDesk®コンソールにアラートを送信します。

システム ディフェンス機能は、サービス拒否 (DoS) 攻撃やポートを攻撃するインターネット ワームやウイルスを一貫した方法でフィルタリングします。システム管理者は特定のポートをブロックすることにより、インターネット ユーザの望ましくない挙動を制御できます。システム ディフェンス機能ではインテル vPro デバイスにエージェントをインストールする必要がなく、デバイス単位でポリシーを有効にすることができます。

## エージェントの稼働を保証する監視機能

インテル vPro テクノロジーのAgent Presence機能を使用することにより、LANDeskの管理者は インテル vPro デバイスを設定し、インテル vPro ベースの PC で実行されているローカル エージェントに関する変更が監視できます。予期しないシャットダウンやローカルエージェントの起動失敗など、特定の変化に応じて自動処理を実行することも可能です。この機能を有効にすると、LANDeskコンソールから設定可能なポリシーを使用して、エージェントが自動的に再起動または再インストールされます。

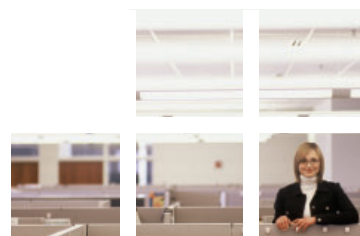
Agent Presence機能は、インテル vPro 対応デバイスにおいてアプリケーションがハードウェア レベルで稼働しているかどうかを監視する方法となります。Agent Presence機能では他のアプリケーション監視プログラムと異なり、ユーザがアプリケーション監視プログラムそのものを停止または強制終了し、制限を回避したり検出を逃れることはできないように保証されます。エンド ユーザがエージェントを削除したり、その動作を変更した場合には、エージェント ウォッチャーがダウンしたエージェントを再起動し、エージェントの名前が変更されていても元の状態に戻して、IT チームにアラートを送信します。

## 総合的なデバイス検出

システムのアップグレードや修復も、デバイス検出にとっては頭の痛い問題となります。従来の方式では、管理ソフトウェアが収集したデータの大部分がシステムのハードドライブに保存されます。ハードドライブのイメージを再作成した場合、一意の識別子 (GUID) は自動的に復元されません。

たとえば、部門アップグレードの際、ある従業員が誤ってハードドライブの内容を消去してしまったとします。技術担当者はドライブのイメージを再構築し、アプリケーションを再インストールして、あるアプリケーションは最新バージョンにアップグレードします。定期的なインベントリ スキャンが次に実行された時点で管理ソフトウェアは、このプラットフォームが当該ユーザに関連付けられていた以前のシステムと同じではないことを発見します。GUIDが見当たらず、アプリケーションの1つはバージョン番号が異なります。このような変更は従来であれば、このシステムは新規マシンであることを意味すると解釈されます。マシンには新しいGUIDが割り当てられ、LANDesk®データベースユーティリティが夜間保守作業で重複エントリを解決するまでの間、この従業員は、アプリケーションの同一セット 2 組を含む、2つのシステムを「所有」していることとなります。

インテル vPro テクノロジーは LANDesk 管理ソリューションがGUIDを保存できるようにすることで、この問題を解決します。LANDesk®ソリューションはOSの状態やマシンの電源オン/オフに関係なく、この情報にアクセスすることが可能です。アップグレード、修復、イメージの再構築が、デバイスの正確な特定に影響を及ぼすこともありません。GUIDの重複を発生させずに資産を正確に追跡できるため、コンピュータを所有・管理する総合コストが大幅に削減されます。



## 状態を問わないコンピュータのリモート修復

LANDesk管理ソリューションは、インテル vPro テクノロジーが一貫して記憶する情報を診断と修復に使用します。たとえば、マーケティング部門の従業員がマルチメディア プレゼンテーションを作成しようとしても、ビデオ編集プログラムを開くと必ずシステムがクラッシュするとします。インバンド方式のリモートコントロール エージェントはシステムがクラッシュすると機能しないので、従来であればヘルプ デスク担当者は、マシンがある場所まで出向き、ディスクから再起動して問題の診断を開始しなければなりません。場合によっては何度も足を運ぶ必要があります。あるいは、ユーザが電話で必要な情報を伝えることもできますが、間違いが起こりやすく実に面倒です。

インテル vPro テクノロジーのアウトオブバンド通信機能とIDE (Integrated Drive Electronics) リダイレクト機能を使用すれば、ヘルプ デスク担当者はクラッシュしたマシンをリモート ブートし、一貫したメモリにアクセスすることができます。これにより、イベント ログ、ビデオ カード情報、BIOSとビデオの設定を含め、ハードウェアとソフトウェアのインベントリを調べることができます。この例の場合には、メーカーの知識ベースを確認したところ、ユーザが使用しているマルチメディア アプリケーションとビデオカードの組み合わせでは、ビデオ シャドウ機能を無効にしなければならないことが判明しました。そこで技術担当者はユーザのBIOSにリモート アクセスし、ビデオ シャドウ設定を変更します。マシンの場所まで出向いて時間と手間をかけることもなく、問題は解決し、ユーザは業務を再開することができます。

## 詳細情報の入手先

コンピュータに関して管理ソフトウェアが収集するデータが最新状態を正確に反映するのは一般に、ソフトウェアベースのインベントリ スキャンが最後に実行された直後だけです。LANDesk管理ソリューションの場合には、アウトオブバンド通信機能と インテル vPro テクノロジーで保存されるデータが備える一貫性により、常に最新状態を管理することができます。インテル vPro テクノロジーの詳細については、[www.intel.co.jp/jp/gopro/index.htm](http://www.intel.co.jp/jp/gopro/index.htm) をご覧ください。

## 主な機能

- IT資産を正確に記録し、コンピュータ資源全体の管理を効率化
- インテル vPro テクノロジー対応のハードウェアおよびソフトウェア資産についてアウトオブバンド検出を実行
- インテル vPro テクノロジーベースのシステムなら、OSやマシンの状態に関係なくリモート修復
- アウトオブバンドからインバンドのリモート コントロールにシームレスに移行、重要な管理エージェントを監視してアラートを発信、サービスとエージェントの再起動やインストールを自動化
- 画面出力のリダイレクトおよびブート リダイレクションにより応答のないシステムを修復
- インテル vPro テクノロジーのAgent Presence機能によりエージェントを監視して稼働を保証、システム ディフェンス機能によりウイルスやワームをスキャンして感染マシンを隔離または機能制限
- エンド ユーザがエージェントを削除したり、その動作を変更した場合には、エージェント ウォッチャーがダウンしたエージェントを再起動し、エージェントの名前が変更されていても元の状態に戻して、IT部門にアラートを送信

## システム要件

コアサーバ、コンソール、OSの要件およびサポートするデータベース、ディレクトリ、Webサーバ、レポートエンジン、言語、クライアントプラットフォームなどの最新情報は、LANDeskのWebサイト([www.landesk.co.jp](http://www.landesk.co.jp))で確認ください。

## 価格

LANDesk®ソリューションのノード単価は、LANDesk認定販売代理店(LANDesk ESP)にお問い合わせ下さい。

本資料に掲載されている情報はLANDesk®製品に関連して提供しているものです。本資料は、明示されているか否かに関わらず、また禁反言によるとよらずに関わらず、いかなる知的財産権のライセンスも許諾いたしません。LANDeskは本資料の内容に誤りがないことを保証するものではなく、またLANDeskはいつでも、予告なしに、本資料の内容または関連製品の仕様、製品に関する記述を変更することがあります。最新の製品情報については、<http://www.landesk.co.jp>をご参照ください。

Copyright©2007 LANDesk Software Ltd. or its affiliated companies. All rights reserved. LANDeskは、LANDesk Software Ltd.またはその子会社の米国およびその他国における登録商標または商標です。その他名称またはブランドは他社が所有している場合があります。

個々のお客様の結果はそれぞれの実態と環境により異なる場合があります。



LANDesk Software株式会社

〒105-0013  
東京都港区浜松町1-27-16 浜松町DSビル5F  
TEL: 03-3435-8261  
Email: [Sales.Japan@landesk.com](mailto:Sales.Japan@landesk.com)  
[www.landesk.co.jp](http://www.landesk.co.jp)